

# つなぎ農地利用最適化推進運動

農委会名：津奈木町農業委員会

## 1 地域の概要

本町は、熊本県南部に位置し、東南北の三方は山に囲まれ、海岸線近くまで迫る山々には温暖な気候を利用して甘夏みかんやデコポンの果樹園が広がっている。

西側は不知火海に面しており不知火海を隔てて天草諸島と隣接している。

## 2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 6人（うち、認定4人、女性1人）
- (2) 推進委員数 5人（うち、認定4人）
- (3) 事務局体制 2人（兼任）

## 3 掲げた目標

前年度の集積面積が5.8haだったので、今年度は1.1倍の6.4haを目標に掲げた。特に今年度は新規での利用権設定の面積を増やすことを目標とした。

## 4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

各地区の農業委員に出し手と受け手のところに行ってもらい、利用権契約を結んでいただいた。また前年度同様、農地中間管理機構を通しての集積も行った。

## 5 取り組みの成果

今年度は、前年に比べ農地中間管理機構を通しての契約が多くなされ、前年度より1.5ha増加し、7.94haの面積を集積することが出来た。さらに、町で行った樹園地集積計画もあったので今回の実績を挙げる事ができた。しかし、新規で契約した面積が前年度より約2.7haと大きく減少し、ほとんどが再設定だった。農業を若い世代へ受け継いでいくためにも新規での集積面積を今後とも増やしていきたい。

## 6 課題と今後の方針等

町内においても、後継者不足等により耕作放棄地（特に樹園地）が増加傾向にあり、担い手の確保が喫緊の課題となっている。農業者同士が意見交換をできる場を設け情報共有をしていくことが大切であると考えられる。